

☆作業日あれこれ

河辺林通信も今回で145号です。毎月発行です。12ヶ月で割ると12年+1になり、13年目に入ったことになるわけです。毎年、活動発足記念は暑さ対策で午後を活動休止にする7月にしています。乞うご期待！

5月第2土曜日は、前日の強い雨でどうなるかと思っていたのですが天気予報通り快晴でした。



みどりのつどいコンサート

連休中は連日の好天、黄砂などでよどんだ感のあった大気ですが、雨によって洗われ、空気はどこまでも澄み新緑が眩しい中で作業スタートです。なんと爽やかな日、冬を生き延びて春が来た喜びを全身で感じる日、後、幾度こんな季節を晴れ晴れと迎えることができるだろうと思わず考えてしまいました。何度言っても尽きないほどの素晴らしい天気だったんです。ブンちゃん担当の観察会では、センター前でアイス・ブレイクの後、今が盛りの燃えるようなヤマツツジの花の観察に向かいました。途中で交流広場のヤマツツジの花を見た後は、この日、作業を予定をしている草庫(そうこ：倉庫のしゃれ)の屋根の上の植生観察です。森の整備時に屋上緑化モデルとして人工土壌で屋根を葺いた草庫は、10年ほどの間にケヤキやアキレ等が育っており、このままだと屋根に支障が生じるのではと切ることになったのです。屋根は防水した後、プラスチック資材の上に厚さ15センチ程度の人工土壌を載せています。完成後は種を播いたり苗を植えたりせずに放置し、風や鳥のフンなどで運ばれてきた植物が生育するにまかせていました。最初はセイタカアワダチソウやメリケンカウヤバカリが育っていましたが、いつの間にか樹木の実生が目立つようになりました。切り妻の屋根は、南東斜面には木が少なく反対側の北西斜面には木が多く育っています。普通なら陽当たりの良い南東側に植物が育つのですが、屋根という水分条件が厳しい場所では、陽当たりが悪く土壌が乾燥しにくい北西側の方が植物にとって好条件だったのだろうと推測されます。

観察会のメイン、ヤマツツジは今年見事な花を付けており、スタッフは森の情報案内でも力を入れています。しかし、この花が際だっていた10年ほど前と比べると、成長して徒長状態の枝に花が付

いていますので、丸くこんもりとした樹形に咲いていた頃の花の密度には及びません。かといって刈り込むのは趣旨に反します。里山保全で救い出した花木は、剪定をしません。園芸植物を化粧をした美しさで見なせば、素肌の清楚な女性の姿といったところでしょうか。帰路にはこの森にある4種のサクラのうち最後に咲くイザナサクラの大木を見上げ花を観察したのですが、高く確認できず、根本に散っている小さな花びらから解説することとなりました。



ピカピカチッパ

この日の作業は4つです。まずはセンターの近くで整備当初に刈の地下茎を駆除して裸地にしたエリアを約10年ぶりに手入れしました。先駆種のタケノコやアマガシ、あるいはノイバラやツバキの除去が中心でしたが、きれいにしていこうと、この森では希少と言えるアカマツの実生苗が1本見つかりました。高さは胸くらいで幹は指くらいの太さしかなくヒョロヒョロです。しかし周りを伐開して明るくしたので、これから育ってくれることを願います。2つめ草庫の作業では、前述した屋根の樹木伐採です。最初は子どもだけの予定でしたが、大丈夫とわかると三平トキなども屋根の上で木の撤去作業をしていました。樹木は、陽当たりの良い南東側の屋根にはアキレが1本のみ生育、逆に北東側はケヤキが最も多く、クヌギ、ハクギリ、ムササビ、ウツの仲間、そしてネズミモチが生育していました。ちなみに一番大きく育っていた木はケヤキで、高さは約4m、年輪を見ると6歳でした。3つめサの機械刈班は野鳥観察小屋からウツの木までのサ刈りです。ここは森の中でも地形の凹凸に富むので、結構苦労して刈ってくださいました。4つめはケヤキ広場西側で10年以上の兵糧責めにも負けず毎年生えてくる細竹の手刈り作業をやっていました。地味な作業ですが、これをしておかないといつか再び竹林に覆われてしまいます。昼食メニューは、山番さん差入れの筍を使った筍御飯、天ぷら、木の芽和え、山ウドの酢味噌和えその他諸々と超豪華でありました。オチは山ウドの酢味噌和え、クは筍の木の芽和えとアデにピクリの一品に大満足、またまた皆様のひんしゅくを買うこととなりました。それ以外の皆様、午後の作業ご苦労様でした！

6月23日(水曜日)週日活动 森の居酒屋は6月9日 午後7時頃～

6月12日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先：東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

第4水曜日は14人が参加、しかし雨が降ったり止んだりでよく分からない天候でした。今年、遊林会では不足する活動資金を補うために民間の助成金なども獲得しようと奮闘していますが、森を手入れする際に発生する枝葉などを粉碎して歩道に敷き詰め、車いすやベビーカー利用者の方が通りやすい道を整備するとしてセブン-イレブンみどりの基金に申請していた事業が見事採択され、枝葉を粉碎するためのチップーを購入することができました。この日はそのチップーの納入日で、9時からメーカの方より取り扱い説明を受け、機械好きの参加者は興味津々で撫で回していました。その後、早速チップー作業を開始するつもりだったのですが、昨晚までの雨で濡れた材は機械にかけない方が良くとのことでやむなく断念。代わりにテントの下で作業できる薪割り機作業を行いました。今回割った材は、先月までに伐採した朽枯れ被害木で、割ったらカビがキラムの幼虫がわんさか出てきました。玉切りしても丸太のまま放置しておくとも成虫になって脱出することがあるそうなので、できるだけ細かく割りました。同時並行で、久しぶりに焼いた木炭を箱詰めする作業も行いました。今回はなかなか良い炭が焼けたようです。

お昼はいつものように豪華。豆ご飯に肉じゃが、シヤモと鮭の南蛮漬け、人参葉のお浸しなど身体に優しくおいしい物ばかりでした。もちろん午後からも作業を実施、天候不順な中、たくさん作業をしていただきました。

☆5月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。5月は2回の活動を行いました。

5/13 7人 トンガリ広場で新たに発見された朽枯れによる枯損木を伐採したほか、その近くで昨年枯れてしまっていたアカマツを伐採しました。

5/20 9人 5/30のみどりのつどいに備え、男性陣は草はら広場のベンチ改修作業。女性陣はみどりのつどい販売グッズ制作を行いました。

6月は3日、17日が活動日です。

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

先月の通信で、森で市の業務を行っている「花と緑の推進課」が4月から消滅し、業務内容はそのまま職員が3人に減らされたことをお伝えしました。森は月曜・祝日・年末年始のみ休みなので、昨年度は勤務日297日、休館日68日でした（ちなみに役所は勤務日242日、休日123日でした）。この森に緑化推進や里山保全活動支援事業の申請等に来られる市民のみなさんの利便性を向上させるとともに、子どもをはじめ多くの人が森に来やすい土日は開館すべきことから、少ないスタッフでも何とかソフトを工夫して交替勤務でやりくりしていたのです。それが

4月から突然3人体制となり、交替休みの日曜や火曜（勤務者が1名になる）には形だけ森を開館していても事実上学校等の団体を受け入れできない状況になりました。そこで4月下旬に急遽市で臨時職員を募集してもらい、幸いにも5月から勤務してくださる方が来てくれました。新メンバーは、森の市職員としては初の女性職員である野川さんです。一見、おしとやかな女性ですが、スズメバチを見てきゃー!と言うどころか平然とし、この前の作業で割った薪から出てきた巨大なカキムシのサギをさわってスゴイと言いながら可愛がってくれている森好きな女性です。これからどうぞよろしくお願いします。

☆今年も賑やかに「みどりのつどい」終了

この地域での大きなイベント「大風まつり」がこの森の横の愛知川河川敷で行われるのに合わせて、例年この森では「みどりのつどい」を行っています。今年も前夜祭として、5月15日に森の室内楽コンサートを行い、夕暮れ時の春の森の中でゆったりと流れる音楽を楽しんでいただきました。そしてみどりつどいは、5月30日に実施。たくさんのお店が出て、いろいろな風も揚がっている大風会場に比べると森の中のイベントはひっそりしたのですが、造園協会さんや東近江新エネ推進会議のみなさんなどと一緒に、遊林会も店構え？を行います。遊林会のブースでは、子どもたちが無料で参加できるクイズラリーを実施したり、少しでも活動資金を稼ぐために森の保全活動で発生した枝や実で作った飾り物などを販売したりしました。例年、この時期に発生するハチの間引きタケノコを炭火で焼いて好評を頂いていますが、今年は低温が続くせいかタケノコの成長はイマイチ、急遽ソラマメの炭火焼きも登場しました。大風まつりのメインと言える百畳敷きの大風は午前と午後に各1回、風の様子次第で揚げられますが、大風が揚がるまでの間、この森のことを知っている子どもたちはクイズをしに来てくれます。今年は見事な青空が広がる好天でしたが、百畳の大風はわずかししか揚がらなかったようでした。とりあえず、今年も無事にみどりのつどいは終わりました。お手伝いに来てくださったみなさん、ありがとうございました。

☆6月の作業日

6月に入ると、いよいよ竹との戦いの幕開けとなります。ハチやカなども多くなってきます。しかし、森の緑はますます濃く、森に入っただけで気分が良くなりますよ！お気軽に作業におこしください。6月のお昼は、もちろん筍づくしになると思います。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！